

(二十七) 蓮光寺脇(れんこうじわき)

西林木町川北町内の蓮光寺周辺についた地名です。

蓮光寺は臨済宗妙心寺派で、江戸時代中期の元文二年(一七三七)意宇郡竹矢村(現八束郡東出雲町)から移され中興したと伝えられています。

参道にある西国三十三ヶ所観音の小堂郡は、観音信仰の盛んであった江戸末期頃、地方信者に依って一堂つつ寄進されて、西国観音の霊を勧請されたものと思われます。

往時は西国観音霊場の身近な信仰の場として、多数の信者が巡拝されたといたという関係で、当地を「蓮光寺脇」と呼称され地名となって残ったものと思われます。

また 蓮光寺脇を上にあがり観音堂の脇の道をあがると、往古の時代についていたといわれる天平古道に到達し、そして山崎山に登る山道があります。

